

2015年9月1日

日興グローイング・ベンチャーファンド

エンジェルジャパン・アセットマネジメント

宇佐美 博高から皆様へのメッセージ

根気強い調査で成長力を見極める

中国の景気減速懸念や米国の利上げ観測の揺らぎから、8月の株式市場は波乱の展開となりました。特に下旬はTOPIX（東証株価指数）が5%以上下落する日があるなど、ややパニック的な動きもみられました。日本経済のファンダメンタルズが堅調な中で、海外発の要因でこれだけ株価が動くことには多少違和感も覚えますが、それだけ金融がグローバル化していることを示しているのだと思います。しかし、今後中国経済がどうなるのか、米国の利上げ開始がいつになるのかなど、グローバルのマクロ経済を正確に予想することは極めて難しいというのが現実です。当ファンドが、相対的にマクロ経済の影響を受けにくい中小型新興株に特化しているのも、それが理由の一つと言えるでしょう。

一般に、新興企業の業績がマクロ経済の変化に左右されることなく成長を続けられるのは、革新的なサービス・製品を創出することで大手企業からシェアを奪う、あるいは革新的な技術やアイデアをもとに全く新しい市場を創出する、といったことが実現できているからです。さらに近年では、M&A（企業の合併・買収）も成長のために有力な手法として新興企業に定着してきました。しかも、国内企業に対するものだけでなく、国境をまたいだクロスボーダーM&Aも珍しくなくなってきました。特に、「インターネット」という世界共通言語を持つIT・通信分野では、経営者同士の交流がグローバルに行なわれていることもあり、クロスボーダーM&Aが盛んに行なわれるようになってきました。

「時間を買う」という点で有効な策と言えるM&Aですが、もちろん成功例もあれば失敗例もあり、注意は必要です。株式投資家としてはM&Aが公表された時点で成功・失敗を見極めたいところですが、大企業が大企業を買収するケースとは異なり、中堅・中小企業の場合は被買収企業が上場企業でないことが多く、公開されている情報が限定されています。さらに、被買収企業が海外企業ともなると、入手可能な情報は極めて少ないというのが現実でしょう。そうすると、短期的な業績に甚大な影響が生じるケース以外の場合は、発表直後に直感的に良し悪しを判断するのではなく、定期的な個別直接面談調査を重ねる中で、M&Aの効果を根気強く追いかけていくことが重要になります。すなわち、売上の伸び、費用の増減、人員の出入り、相乗効果など、

1/5

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

会社側が当初想定していたことがどれだけ実現され、どこに食い違いが生じているのか、過去に面談で質問してきた事項と比較しつつ、しっかりと分析していく必要があります。

M&Aに対する成否の見極めは一例ですが、当ファンドでは、こうした根気強い調査活動によって、新興企業の成長力を一社一社着実に見極めていくのが基本的なスタンスです。短期的な株価変動に一喜一憂することなく、今後も経営者に対する個別直接面談を中心とした積極的な調査を続けることで、魅力的な50社パッケージを作っていきたいと考えています。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント 宇佐美 博高

※ 上記「50社パッケージ」とは、50社程度という意味で使用しており、投資銘柄数を50社に限定するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

<リスク情報>

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

一般に中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高いと考えられます。

【信用リスク】

投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【未上場株式などの組入リスク】

<低流動性資産のリスク>

未上場会社の発行する株式など流動性の低い証券については、保有証券を直ちに売却できないことも考えられます。また、このような証券の転売についても契約上制限されていることがあり、ファンドの資金流動性に影響を与え、不測の損失を被るリスクがあります。

(次頁に続きます)

3/5

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

(前頁より続きます)

<財務リスク>

未上場会社の発行する株式などは、会社の沿革、規模などの観点から、社会、政治、経済の情勢変化に大きな影響を受け易く、予想に反し、会社の業績、資金調達などにおいて懸念が生じる場合もあります。このような懸念が生じた場合、時価評価額の見直しが行なわれるため、基準価額が影響を受けることも考えられます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

<その他の留意事項>

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類	: 追加型投信／国内／株式
ご購入単位	: 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	: 購入申込受付日の基準価額
信託期間	: 2023年7月18日まで(2003年7月18日設定)
決算日	: 毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	: 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
ご換金価額	: 換金請求受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
ご換金代金のお支払い	: 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	: 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用があります。 ※原則として、益金不算入制度が適用されます。 ※2015年4月1日以降に開始する事業年度より、益金不算入制度は適用されません。

4/5

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

- 購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.24% (税抜3%) を上限として販売会社が定める率とします。
 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額
 ＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞
- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率2.052% (税抜1.9%) を乗じて得た額
- その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
 ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 投資顧問会社 : エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
- 受託会社 : 野村信託銀行株式会社
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
 [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○	
日産センチュリー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

(50音順、当資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。